

平成22年12月1日号



目次

I 地域医療の現場より	ページ
～下関市立角島診療所長 中嶋 裕さん～	1
II 山口の今！	
◆ 山口県地域医療セミナー 2010 夏：山口大学と自治医科大学が共同開催！	5
◆ 山口県で本格的な地域医療研修が始まります！	6
～平成 23 年度 地域医療研修（医師臨床研修） 萩コース、周防大島・平郡島コース～	
III 県からのお知らせ	
◆ 『やまぐちドクターネット』を御覧ください！	6
◆ 医師無料職業紹介事業「ドクターバンクやまぐち」スタート！	7
◆ 自治医科大学医学部の入学志願者募集！	8
◆ 山口大学医学部地域医療推進学講座（寄附講座）の紹介	8
* 本誌の継続発送を希望される方へ -申込方法など-	10

I 地域医療の現場より

下関市立角島診療所長 中嶋 裕さん

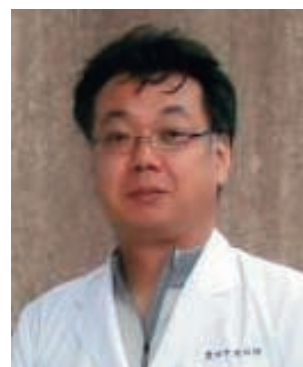
記念すべき第10回の「地域医療の現場より」では、第8回のインタビューアとして登場いただいた、下関市立角島診療所長の中嶋裕さんです。

中嶋さんの診療上のモットーや、支えとなっているものについて伺いました。

プロフィール

なか しま ゆたか
中嶋 裕 (34) 防府市出身

平成 7年 県立防府高校卒業
平成 14年 自治医科大学卒業後、
県立総合医療センターにて初期研修
平成 16年 豊田中央病院
平成 19年 県立総合医療センターにて後期研修
平成 20年 萩市見島診療所
平成 22年 現職



Interview

【Q】 中嶋先生は現在、下関市立角島診療所に勤務されていますが、一次救命処置（BLS）講習会など住民の方々への健康問題や救急医療の啓もうにつながる活動や地域での学生教育に積極的に取り組まれています。

先生が医師になろうと思った動機や地域医療に興味をもたれたきっかけなどがあれば教えて下さい。

【中嶋】 「医師になろう」「地域医療に興味がある」という積極的な動機は、最初はあまりなく、漠然と「人と接する仕事に就きたい」と思っていました。

そんな中、父親から「自治医科大学は、卒業後県内のへき地等で地域医療に従事することで、学費が免除される大学だ」という内容を聞きました。

不純な動機かもしれませんが、自分の希望も叶いつつ、学費も免除されるというお得な大学があるなら是非行ってみたいと思うようになったのがきっかけです。

私の場合、動機にまず自治医科大学があり、自治医科大学から医師や地域医療をイメージするようになりました。

【 Q 】 自治医科大学を卒業され、日本海に浮かぶ離島の見島等での勤務を経て、現在の角島で診療をされています。

中嶋先生が診療を通して感じる地域や患者さんの特徴などがありますか。

【中嶋】 見島という離島で生活し、診療することで、その地域に“医師”として存在している自分を実感しました。

例えば「医者（私）がいるだけで安心、逆に病気でもないけど医者（私）がいないと不安」という声を耳にしました。離島では電話して救急車が来る訳ではないので、その気持ちも分かります。まさに“そこ（離島）に自分（医師）が存在すること”が、“安心”であるという感覚です。

離島では、“医師”としての自分を強く意識するようになりました。地域や患者さんの特徴は、それぞれに違います。それぞれの地域では、産業や年齢の構成も違います。受診される病気の種類も様々です。ただ、できるだけ地域性というイメージ（先入観）を持たないように努めています。

【 Q 】 診療する上で地域の特性を理解することは重要ですが、それにとらわれ過ぎないという視点も大切ですね。

ところで、先生の診療上のモットーとされていることなどがあれば教えてください。

【中嶋】 角島診療所で（私を含め）4人の職員みんな、今年度の目標を立てました。

「患者さんが笑顔になれる診療所を目指す」です。

職員一丸となって、如何にして来院された方に満足して帰ってもらうかを日々考えています。

【 Q 】 この診療所の目標は角島診療所の診察室に大きく掲示されていますね。先生が診療していて「楽しい」と感じることや「つらい」と感じるなどがあれば教えてください。



見島を離任する際、船上から撮影



角島診療所のスタッフ

【中嶋】 “楽しい”とは少し違うかもしれませんが、来院された方のお話を聞いて、あまり何もしない（薬を追加したり、注射したりしない）でもスッキリ（元気になるって）帰ってもらおうと“やった！！”という充実感をえます。

“つらい”と感じることは…あまりないですね。

“つらい”と思う前に（最善は尽くしたが）「しょうがなかった…」と思うよう努めています。

【 Q 】 先生の診療の支えになるものは何でしょうか。

【中嶋】 “家族”と“地域”です。

“家族”は、そのまま私の家族です。やはり日々、家族がいることが、私の生活や診療の支えになっていると思います。

“地域”というのは、「その土地に住む人」「その土地をふるさとして人」「その土地で仕事をする人」という意味です。

その土地に関係のある人が安心して暮らせるよう、「私には何ができるか？を考えること」「そして行動すること」がもう一つの支え（原動力）になっています。



夏の角島ビーチ

【 Q 】 診療の傍ら、地域の住民の方々を対象にした臨床研究をされ発表されていますが、研究の内容や研究を通じて感じられたこと、日常臨床につながる新たな視点などがあれば教えてください。

【中嶋】 臨床研究は、“公益社団法人 地域医療振興協会”の主催する“公衆衛生ネット”から指導を受けながらどうにかやっているところです。普段の診療や地域での活動で、悩んだことをテーマにしています。

“公衆衛生ネット”は誰でも利用できます。臨床研究やヘルスプロモーション活動など様々な形で、支援又は応援をしてくれます。興味のある方は“公衆衛生ネット”で検索して頂ければ、いつでも誰でも問合せが可能です。

また山口県には、“公衆衛生ネット”を通じて、自治医科大学卒業生が中心となって作った、“Y & Y研究会”という地域における臨床研究についての研究会もあります。

臨床研究は、新たな知見を見いだすというよりは、「きっと同じように悩んでいる人がいるだろう…そういった人と悩みを共有していきたい」という動機でしています。また、普段の診療や活動では、自分を客観的に振り返る機会があまりありませんから、そういった活動を通じて、自分を客観的に振り返る“自己反省”の意味もあります。

ちなみに、今まで私が取り組んだテーマとしては、「診療所医師に求められる診療技術」「離島における肺炎球菌ワクチンの効果」「離島において子ど

もが病気の時の親の不安」「高齢者におけるBLS（一次心肺蘇生）」「離島におけるヘリ搬送の実際」などがあります。

何だかまとまりがありませんね。でも、私がどういったことをしてきたか何となく分かって頂けるのではないかと思います。

【Q】 最近「山口の地域医療を伝える会」というホームページを立ち上げられましたね。このホームページについて紹介してください。

【中嶋】 山口の地域医療の現場で、実際にどういった活動をしているか伝えたいと思いホームページを立ち上げました。医学的な内容よりも地域の模様や活動を通じて、少しでも“地域”又は“地域医療”を身近に感じてもらいたいです。まだまだ、試行錯誤の段階ですが、今後も継続していきたいと思っています。「山口の地域医療を伝える会」と検索して頂くか、<http://yamaguchi-chiiki.s1.bindsite.jp/index.html>で閲覧できます。

【Q】 今後の抱負やこういう診療をしてきたいと思われることがあれば教えて下さい。

【中嶋】 今後の大きな抱負（課題）は「山口の地域医療が充実するために、自分には何ができるか？」ということです。一気に物事は動かないですが、一つ一つ壁が乗り越えられたら、きっとみんな（地域）が、今よりもHappyになれると思っています。

また、目の前の抱負（課題）は、「診療所に来て私の目の前にいる人に対して、最良の医療を提供していく」ということです。もちろん自分一人で、最良の医療を提供できる訳ではないので、専門医療機関の助けや院内及び院外のコメディカルスタッフとの連携などが不可欠です。その中で自分の役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。

【Q】 若い読者（これから医療の仕事をしたと思っている人や、医学生など）にメッセージをお願いします。

【中嶋】 ここ数年、初期臨床研修中の先生や医学生さんと地域医療を通じて接することがあります。若い感性で、非常に敏感に地域医療を感じていると思っています。

また、私の学生の頃と比べて、積極的に地域の住民の方と接しており、感心しています。非常に良い感じで早い段階から若い皆さんが地域に飛び込んできているんだなと思っています。

実際に医療の仕事をするのは少し先になるかも知れませんが、一緒に仕事ができることを楽しみにしています。自分もまだまだ若いつもりですが、皆さんに負けないように頑張っていきたいと思っています。



学生に超音波検査を指導する中嶋さん

II 山口の今!

◆ 山口県地域医療セミナー 2010夏 山口大学と自治医科大学が共同開催!

「山口県地域医療セミナー 2010夏 山口大学 and 自治医科大学」が平成22年8月19日から3日間開催されました。

地域医療セミナーは山口県の寄附講座である山口大学医学部地域医療推進学講座が主催するもので、4回目となる今回は、毎年行われてきた自治医科大学の夏期研修を兼ねて行われました。これまでも夏期研修に山口大学の学生が参加することはありましたが、両大学の学生が合同で地域医療の実習を行う本格的な試みは今回が初めてです。

セミナーは、本県出身の自治医大卒業生が勤務する県内9か所の病院・診療所を実習施設として、山口大学医学部学生11名、本県出身の自治医科大学学生11名が参加しました。両大学の学生がペアとなり、主に自治医科大学卒業の先生方の指導のもと実習を行い、実質1日半でしたが、互いに刺激しあい、協力しあい、地域医療の魅力を存分に味わったようです。

2日目の夜には懇親会、3日目には報告会が行われました。懇親会と報告会には、参加学生や各実習施設の先生方に加えて、山口大学、自治医科大学、山口県、県立総合医療センター地域医療部等の関係者が集まり、これからの新しいコラボレーションのスタートとなりました。



• 外来診療と訪問診療を中心に、高学年の学生には処置や検査の実習が行われました

• 学生同士、病院・診療所のスタッフ、住民との交流もセミナーの楽しみのひとつです

• 山口大学医学部佐々木学部長より参加学生一人ひとりに参加証が授与されました



• あっという間の3日間 名残を惜しむ記念撮影でした

(協力施設)

岩国市立錦中央病院
岩国市立美和病院
岩国市立本郷診療所
下関市立豊田中央病院
下関市立角島診療所
萩市国保川上診療所
萩市国保福川診療所
柳井市立平郡診療所
周防大島町立東和病院

◆ 山口県で本格的な地域医療研修が始まります！

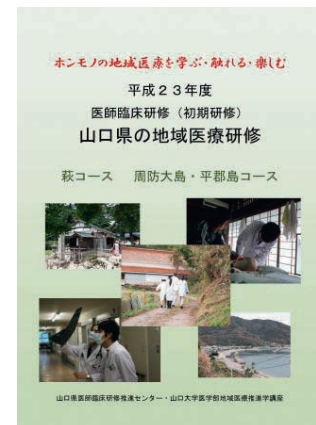
・地域医療研修コースの目的

医師臨床研修の主な目的は、プライマリ・ケアや初期治療のできる医師を養成することです。平成22年度からの改正により、地域医療研修1か月間が必修となり、地域医療で必要とされるプライマリ・ケアと初期治療の重要性がさらに高まっています。

山口県では、平成23年度から初期研修における「地域医療」をより充実させるため「地域医療研修コース」を設けることとなりました。

一次医療を担う医師は、限られた医療資源のなかで、専門を問わず症候や健康上の不安に対応しています。そのような現場を経験し、一次医療を担う医師に求められる包括的な思考プロセスを理解することは、すべての研修医にとって円滑な病診連携を身につける上で不可欠です。

本地域医療研修コース（萩コース、周防大島・平郡島コース）では、継続的な外来診療や在宅医療等を経験できる中小病院・診療所の医師の指導のもと、研修医が地域医療の現状を理解し、地域医療で必要とされる基本的な診療を実践することを目的とします。



・歴史と自然の中で充実の1か月を

平成23年度は初年度であるため、萩と周防大島・平郡島の2つのコースで行い、今後、県内の他の地域でのコースを準備していく予定です。

地域医療の魅力のひとつは地域での生活にあります。萩、周防大島・平郡島の両地域は、長い歴史を持ち、素晴らしい自然に囲まれた所です。また、海の幸を中心に食べ物も魅力です。

心と体のリフレッシュを図りつつ、充実の1か月を過ごしてみませんか。

(問い合わせ)

山口大学医学部地域医療推進学講座

URL http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~tiiki/information_syokikensyu.html

III 県からのお知らせ

◆『やまぐちドクターネット』を御覧ください！ 医師確保総合情報サイト

山口県医師確保総合情報のインターネット・サイト『やまぐちドクターネット』では、県の医師確保対策をはじめ、地域医療に関するトピックスや県内医療機関の情報を掲載しています。

本誌（バックナンバー含め）も掲載しているほか、このサイト上で会員登録をしていただいた方には、現場で活躍する女性医師や研修医の方々のエッセイ等を紹介するメールマガジン「やまぐちドクターネット通信」を隔月配信しています。是非、一度御覧下さい。

<http://www.y-doctor.med.yamaguchi-u.ac.jp/>

◆ 医師無料職業紹介事業「ドクターバンクやまぐち」スタート!

・趣旨

山口県内の地域医療を担う医師の確保に向けて、平成22年6月1日から地域医療推進室に「ドクターバンクやまぐち」を開設しました。

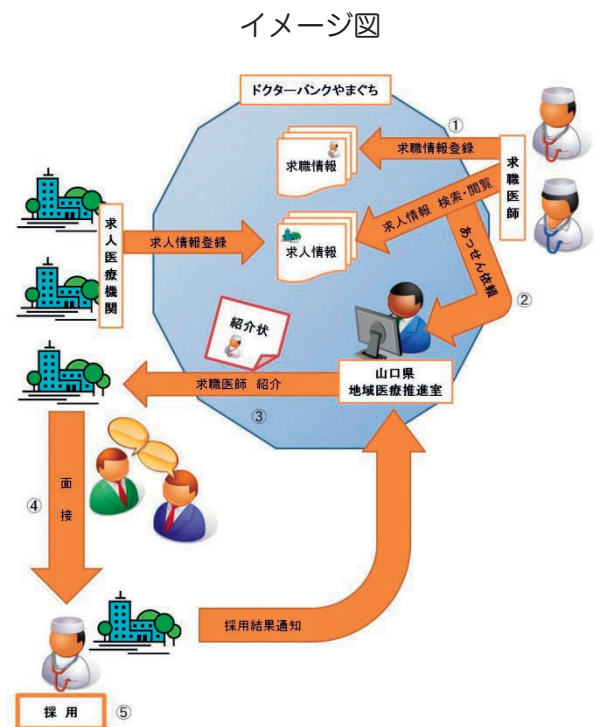
「ドクターバンクやまぐち」では、職業安定法等の関係法令に基づき、山口県内の公的医療機関等を対象に、医師の就職の紹介やあっせんを実施するものです。

・対象医療機関

山口県内にある公的医療機関等

・事業概要(イメージ図参照)

- ① 求職医師が山口県医師確保総合情報サイト*『やまぐちドクターネット』から求職情報を登録
- ② 求職医師から職業紹介あっせん依頼を受理
- ③ ドクターバンクやまぐちに登録されている求人医療機関の中から、求職医師の希望に沿った医療機関を紹介(紹介状を発行)
- ④ 紹介状を基に、求職医師と求人医療機関で採用面接等を実施
- ⑤ 医師採用(採用とならなかった場合でも、希望があれば、他の医療機関を紹介するなどの支援を実施)



山口県内の公的医療機関等をあっせんの対象としていますので、山口県で働きたいと考えていらっしゃる医師の方は、『やまぐちドクターネット』内の専用ページから求職情報に登録していただくか、下記問い合わせ先まで連絡して頂きますようお願いいたします。

* 『やまぐちドクターネット』

URL <http://www.y-doctor.med.yamaguchi-u.ac.jp/>

問い合わせ

山口県 健康福祉部 地域医療推進室 医師確保対策班

〒753-8501 山口県山口市滝町1-1

電話：083-933-2937

FAX：083-933-2939

E-mail：a151001@pref.yamaguchi.lg.jp

URL：http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a151001/index/

◆ 自治医科大学医学部の入学志願者募集！

自治医科大学は、へき地等における医療の確保向上及び地域住民の福祉の増進を図るため、全国の都道府県が共同して昭和47年に設立した地域医療を支える医師（総合医）を育成する私立の医科大学です。

昭和53年から本年度までに65名の本県出身卒業医師がおり、今日まで、本県地域医療の第一線などで活躍されています。

<募集人員>

山口県からは2名ないし3名が選抜される見込みです。

<選抜試験の期日及び試験場>

区 分	第1次試験	第2次試験
試 験 日	学力試験 平成23年1月24日（月） 面接試験 平成23年1月25日（火）	小論文・面接試験 平成23年2月3日（木）
試 験 場	山口県庁	自治医科大学 （栃木県下野市）
合格発表	平成23年1月28日（金）	平成23年2月18日（金）

<願書受付期間>

平成23年1月4日～18日午後5時必着（1月17日（月）消印有効）

<願書提出先（問い合わせ）>

山口県健康福祉部地域医療推進室（担当：木本）

〒753-8501 山口県山口市滝町1-1

電話：083-933-2937

◆ 山口大学医学部地域医療推進学講座 （寄附講座）の紹介

山口県の寄附講座である山口大学医学部地域医療推進学講座は、今年4月に講座名を新たに（旧地域医療学講座）活動を継続しております。

前2年間の調査研究と活動の成果をもとに、県、医師会、協力講座等の大学各教室、大学附属病院卒後臨床研修センター等と協力しながら、山口県の地域医療を担う人材の育成と確保に貢献していきたいと思っております。



福田吉治(教授)は変わらずです
広い部屋に移動になり、
看板の場所も変えました

今年度から地域・へき地医療を体験する「地域包括医療修学実習」（医学部3年生対象）が開始されました。さらに、来年度からの地域医療研修（初期研修）や高校生を対象にしたセミナーなど、新たな試みも始まる予定です。皆様のご期待に沿えるよう、これからますますパワーアップして頑張ります。



中村 浩士（准教授）

専門は循環器内科、膠原病リウマチ
山口大学医学部第二内科より

「地域医療には以前から関心がありました。同じ志を持った方々と力を合わせてこの難問を解決して行きたいと考えています。」



瀬川 誠（講師）

専門は肝臓病学
山口大学医学部第一内科より

「消化器病治療の専門知識を活かしながら、山口の地域医療の向上に貢献出来ればと思います。よろしく願いいたします。」



安部 真彰（助教）

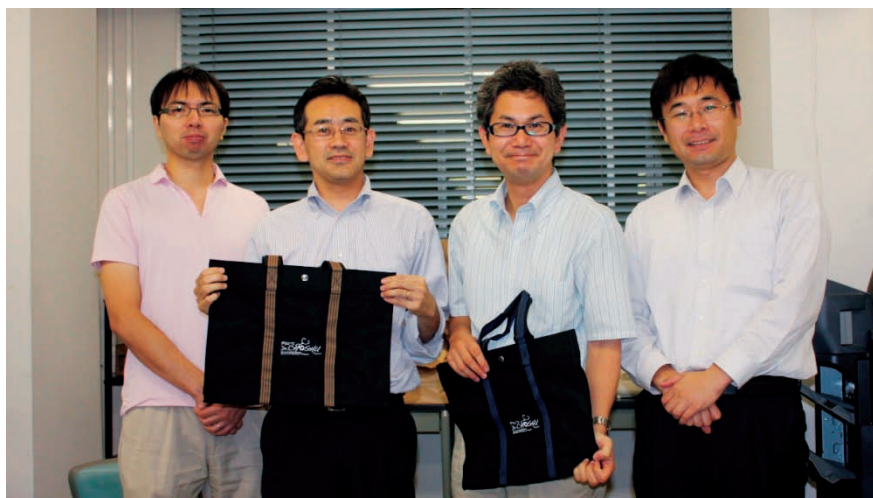
専門は神経内科
山口県立総合医療センターより

「これまでとは全く毛色の違う仕事で、新鮮な気持ちで頑張っていこうと思いますのでよろしくお願い致します。」

原田唯成先生は山口大学医学部附属病院卒後臨床研修センターに異動になりました。今後ともよろしくお願い致します。

講座の活動の詳細はホームページをご参照ください。

<http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~tiiki/front.htm>



左から安部、福田、中村、瀬川
手に持っているのは、オリジナルロゴ入りバッグ
セミナー等の参加者などに記念にお渡しします

(山口大学医学部地域医療推進学講座 福田 吉治)

「山口県地域医療の風便り」の継続発送を御希望の方へ

継続発送申込書

山口県健康福祉部地域医療推進室 行
(FAX 083-933-2939)

この申込書に必要事項を記入して、山口県健康福祉部地域医療推進室あてに
FAX (083-933-2939) をお願いします。

※FAXの際は、この面をそのまま送信いただいて結構です。

※Eメールでの申込みは、件名を「山口県地域医療の風便り継続希望 (医師確保)」
とし、申込者の氏名・年齢・住所 (送付先)・郵便番号を記載して、地域医療
推進室のメールアドレスに送信ください。

E-mail : a151001@pref.yamaguchi.lg.jp

氏名	(歳)
住所(送付先)	(〒 -)

★ 本誌は「やまぐちドクターネット」でも見ることができます。

<http://www.y-doctor.med.yamaguchi-u.ac.jp/publication/index.html>



発行所

山口県健康福祉部地域医療推進室

〒753-8501 山口県山口市滝町1-1

電話：083-933-2937

FAX：083-933-2939

E-mail：a151001@pref.yamaguchi.lg.jp

URL：<http://www.ypref.yamaguchi.lg.jp/cms/a151001/index/>